

2013年11月 第32号

三重県労働組合総連合  
〒514-0015三重県津市寿町7-50  
みえ平和と労働会館  
TEL 059-223-2615  
FAX 059-223-4495  
http://mieroren.labor.net.jp/



行事予定

11月5日(火)～ みえ労連保育キャラバン  
11月16日(土)～17日(日)  
はたらく女性の中央集会in愛知  
11月22日(土)～23日(日)全労連かがやけ憲法キャラバン  
11月22日(土) 2014三重県春闘共闘結成総会  
12月7日(土)～8日(日) 東海北陸ブロック総会 於富山  
1月11日(土) みえ労連評議員会 旗開き

# 医師・看護師不足の解消・非正規職員の賃金引き上げを

## 2013・みえ労連自治体懇談 29自治体、17自治体病院、14教委と懇談

「2013・みえ労連自治体懇談」は、10月1日からスタートし23日に終えることができました。県と29市町・17自治体病院・14市教委との懇談で、みえ労連のべ198名、当局225名が参加しました。安倍政権が消費税増税やTPP、原発推進、改憲などで暴走するなか、6月の事前アンケートの結果を「三重の姿・かたち」にまとめ、この資料をもって「自治体が住民の健康・安全・福祉を守る者となって欲しい。そのためには、ともに働く3〜4割の官製ワーキングプア解消を」と取り組みました。

今年の懇談テーマは、①最低賃金の2桁アップを受けて、自治体ワーキングプアである臨時職員の時給の800円以下をなくし、特別休暇を整備すること、②自治体のセーフティネットを確立すること(生保担当員1人80ケース以下に、保健師充足、保育士増員など)、③民間保育所・障がい者施設・学童保育所・介護事業所も公的責任を担って

いるので自治体独自の財政支援を、④公立病院との懇談では、県内の公立病院の事前アンケートを示し、医師・看護師不足の現状と二次医療圏での医療確立について、の4点でした。平行して取り組んだ14市教委との懇談では、教員の過重労働や学力テストについて率直な懇談となりました。

### 臨時職員の特別休暇が大きく改善

自治体懇談では、みえ労連が集約したアンケート集計表にも、多くの自治体幹部から「貴重なデータで有り難い」と歓迎され、臨時職員の特別休暇が労基法と総務省通知からの見直しで大きく改善されました。

自治体病院との懇談では、院長等から、動き出した社会保障制度改革推進法で「退院しても介護が引き受けられないので、また入院となる。政

府の政策がばらばらだ」などが話題となり地域から医療・介護を守る運動を広げる必要性がはつきりしました。

三重県の医療政策局とは、17病院からの県への要望を紹介し、二次医療圏と医師・看護師の養成についてつっこんだ懇談をおこないました。地域連携部・保健福祉部・戦略企画部とは、市町との4点での懇談を受けて、県としての考えを聞き、「三重県の財政力と医療・社会保障分野の現状」について初めての意見交換を行い、次年度の課題が明らかとなりました。

### 桑名市から熊野市まで 県下全市で教育委員会と懇談

みえ労連・みえ教育ネットワークは2年前から全29市町教育委員会と三重県教育委員会からアンケートを集め、その集約結果をもとに各教育委員会と

懇談では、町長から元気な町づくりをたくさん紹介していただきました。玉城町は、電話やスマートフォンを使ってバスの乗降を予約する「元氣バス」が有名です。乳がん検診の無料化や検診日には健診バスが10台ならび話や、子育てに悩むお母さんたちが相談できるサロンの開催、体育館や学校は冷暖房完備、バスは無料化で高齢者が外出し元気に！など住民が健康に暮らせる数々の取り組みをたくさん話していただきました。また、「三重の首長で原発反対を言っているのは私だけ」と、コントロールできない原発の推進には反対と表明しました。(自治労連 祖父江)

### 玉城町長 住民の健康・絆・活性に取り組む



玉城町長(手前左)との懇談

### 看護師不足の解消を 伊賀地域

伊賀市立上野総合市民病院と、名張市立病院の

合いができたところが多かったです。特別支援学級で働く「介助員」さんの時給が50円アップ(伊賀市)したり、普通教室のエアコンが100%の見直し(いなべ市)が語られたり、「先生たちは働きすぎ、このままでは危険だ(伊勢市)」と過重労働への認識を共有しあえたり、「学力テストの点数だけを追い求めることは間違い(津市)」との回答を引き出したり、有意義な懇談でした。教委側参加者61名、組合

みえ労連・保育キャラバン  
11月5日より県下17市町の保育担当者との懇談を行います

懇談に参加しました。

伊賀では「看護師が確保できず、7対1がとれないので10対1の看護をしている。県立看護大学に伊賀から地域推薦を出しているが制度が始まって間が無い。看護学校・大学から実習生の受け入れをしたいが、距離が遠く難しいと言われてしまう。」と、悩みを話されました。

名張市市民病院では、「7対1の看護をとっているが、看護学校があるので、なんとか看護師は確保できている。」と話され、比較的近い地域でありながら温度差があると感じました。

しかし、三重県全体では看護師は不足しており、養成数を増やすこと、看護師が県内にとどまるような方策が必要です。(医労連 木村)

側参加者のべ57名でした。(教育ネット 吉田)



志摩市教委との懇談